

授業に関するアンケート（2017 年度春学期・学部） 実施結果に対する授業評価報告

- ・授業アンケート結果の数値や「教員コメント」に基づいて、学科等の総括を概ね 4 ページ以内でご記入ください。
- ・原則として、すべての項目にご記入ください。
- ・可能な限り、箇条書きでご記入ください。

学科等
音楽学科

（1）授業実施に関する質問結果について

1. 授業内容はシラバスに合っていましたか。
一部の授業（特別支援教育、アナリーゼ、ポピュラーミュージック、コンピュータ活用など）以外是否定的な答えはなかった。問題のある科目については原因を追求し、解決したいと思う。
2. 受講生の理解度を確かめながら授業が進められていましたか。
一部の授業（和声法、音楽通史など）に否定的回答があったが、これは限られた時間で一定の内容を扱う必要上、致し方のない部分もあると考えられるが、改良方法を考えたいと思う。
3. 授業レベルは自分に合っていましたか。
一部の授業（和声法など）に否定的回答があったが、これは能力別のクラスを設けたりしてすでに対応しており、あとはよりきめ細やかに学生たちの能力を見極め、適切に配分する必要があると考える。
4. 教員からの一方向的な授業ではなく、教員と受講生又は受講生同士の双方向性に工夫がされていましたか。
設問 2 と同様に、科目内容の性質上、双方向性をとりにくいものもあると思われる。
5. 提出物に対するフィードバック（採点、添削、マナビーでのコメント、チェック後の返却など）は効果的に行われていましたか。
一部の教師にまだマナビー操作に習熟していない者があり、早急にそれは解決されるべきであると考ええる。
6. 言葉による説明だけではなく、受講生の理解を促進する工夫がなされていましたか。
一部の授業（対位法など）に否定的回答が多く、改善の努力が必要であると考ええる。
7. 自主学習を促す工夫がなされていましたか。
一部の授業（アナリーゼなど）に否定的回答が多く、改善の努力が必要であると考ええる。
8. 工夫してほしいと思ったことを選んでください（複数選択可、なしも可）。
パワーポイントの使用法などに要求が多かった。改善の努力が必要であると考ええる。

（2）この授業の学修行動に関する質問結果について

9. この授業の予習、復習、自主学習に 1 週当たり平均どれくらいの時間をかけましたか。 ※学内外を問わず授業に間接的に関係のある学習を含む。ただし、授業時間は除く。
宿題や課題のある科目については必然的に多い時間が回答されているが、それ以外の講義系科目などは少ない。当然のことではあるが、学習意欲を刺激するような工夫は常に必要である。
10. あなたはこの授業に関して積極的に意見を述べたり質問をしたりしましたか。
授業の性質上、学生たちに多くの発言の機会が与えられない場合もあるだろうが、これも授業後であったり、それ以外の機会でも、より積極的に学生たちに意見や質問をする意欲を与える工夫も必要である。
11. あなたはこの授業の分野又は関連分野の学習を更に深めたいですか。
これは全体に高い割合で肯定的回答があり、喜ばしいことである。なおいっそうの学習意欲促進に向けて努力して行きたい。
12. あなたがこの授業を履修した理由は何ですか（複数選択可）。
これも必修以外は、授業内容という回答が多く、喜ばしい。

(3) この授業の到達目標に関する質問結果について

13. 到達目標を達成しやすいように指導がなされていましたか。
若干の科目（対位法、ポピュラーミュージックなど）に否定的回答があり、改善に向けて努力すべきである。
14. あなたは到達目標を達成できたと思いますか。
この問いに関しては、学生たちの「謙虚さ」が否定的回答を選択させている傾向は否めないと思う。
15. DWCLA10 の内、この授業の履修を通してその獲得や向上に役立ったと感じられるものをすべて選んでください (複数選択可、なしも可)。
昨年もそうだったが、リーダーシップが少ないのは、やはりレッスン以外での参加型授業が少ないのが原因であろう。 しかし、これもアクティブラーニングの導入により、少しずつ改善されている。

(4) その他

一部の科目について否定的な回答が見られるものの、全般的には、音楽学科の回答は全学平均を上回っているものが多い。個々の設問に関してもコメントをしておいたが、そのような否定的回答によって明らかにされる問題点を、これから教員個人個人がいっそう努力して、授業改善を行っていく必要があると考えている。

教育開発支援センター